Message Broadcasting

Message Broadcasting は EasyMP Monitor 用のプラグインソフト です。

Message Broadcasting を使って、ネットワーク接続されたすべてのプロジェクター、または指定したプロジェクターにデータ (JPEG ファイル)を送信し、投写することができます。データは手動で送信したり、EasyMP Monitor のタイマー機能を使って自動的に送信したりできます。

動作環境

コンピューターに EasyMP Monitor 4.50 かそれ以降のバージョンをインストールしておきます。

Message Broadcasting をインストールする前に、次の点をご確認ください。

- 動作可能なコンピューター
 Windows[®] 8、Windows 7、Windows Vista[®]、Windows XP、または Windows 2000 Professional
- プロジェクターが Message Broadcasting に対応していることを確認しておきます。
 対応情報については以下のサイトで確認することができます。
 http://www.epson.ip/support/
- データを送信するプロジェクターをEasyMP Monitorに登録しておき ます。

インストール

エプソンホームページから Message Broadcasting をダウンロードし、 説明に従ってインストールしてください。

投写するデータを用意する

JPEG 形式のデータを用意します。 1920 × 1200 画素までの JPEG 形式の画像データを投写できます。

作成例

Microsoft[®] PowerPoint[®] で作成したスライドを JPEG 形式で保存する

- PowerPointの「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を 選択します。
- 保存ファイル形式で「JPEG ファイル交換形式 (.jpg)」を選択し、
 [保存]をクリックします。
 複数枚のスライドのときは、「現在のスライドだけを保存する」か、
 「すべてのスライドを保存する」のどちらかを選択します。

note

データを送信するプロジェク ターの「拡張設定」メニュー の「待機モード」を「通信オ ン」に設定しておくと、 Message Broadcasting のデータを受け取ったとき に、プロジェクターの電源が 自動で入ります。

データを送信する

JPEG データや、複数の JPEG データが入ったフォルダを指定して、スライドショーとして投写できます。

手動で送信する

JPEG データや、複数の JPEG データが入ったフォルダを選んで送信します。

1. EasyMP Monitor を起動します。

以下の画面で、登録されているプロジェクターの構成とプロジェク ターの状態を確認できます。



「ツール」メニューの「Plug-in」から「Message Broadcasting」を選択します。

Message Broadcasting 画面が表示されます。

• File	
	Colort
	Select
C Folder	
	Select
Update interval minutes	
Start	End
	Class
	Close
	 File Folder Update interval 1 → minutes Start

note

ここでは「グループ View」 画面で説明しています。「詳 細リスト View」画面は表示 が異なります。

note

Message Broadcasting の操作画面で表示される言 語は、英語のみとなります。

- 3. データを送信するプロジェクターまたはグループを選択します。
- 送信するデータに合わせてチェックボックスをクリックします。
 [File]: 単一のデータを送信する場合
 [Folder]: 複数のデータを送信する場合
- 5. [Select] をクリックし、送信するファイルまたはフォルダを選択します。

選択した内容が表示されます。

Message Broadcasting Ver. X.XX	×
Projector list	
Projector 10	C File Select C:\Users\Uohn Smith\Documents\Announce Update interval 1 Start End
	Close

 フォルダを選択した場合は、スライドの切り替え時間を指定すること ができます。

[Update interval] で指定します。

[Start] をクリックします。
 指定したデータが選択したプロジェクターに送信されます。

選択したプロジェクターが別の映像を投写している場合、Message Broadcasting から送信したデータに切り替えて投写します。

8. [End] をクリックすると、送信したデータの投写を終了します。

[End] をクリックするまで、送信したメッセージを投写し続けます。 スライドショーを設定している場合は、最後のスライドを投写した 後、再び最初から投写します。 note

各プロジェクターからも投写 を中止できます。 本体操作パネルまたはリモコ ンの[戻る]ボタンを押しま す。

Message Broadcasting から投写を再開する場合は、 プロジェクターの電源を入れ 直してください。

自動で送信する

EasyMP Monitor のタイマー機能を使って、指定した日時に自動的に データを送信し、投写するように設定できます。

1. EasyMP Monitor を起動します。

以下の画面で、登録されているプロジェクターの構成とプロジェク ターの状態を確認できます。



2. 「ツール」メニューの「タイマー」から「タイマー設定」を選択します。 タイマー設定画面が表示されます。

ロジェクター一覧(12)	日付①									
🗉 🎬 Branch A	_	•		2005/08		•				
🗉 🔛 Convention Hal	B	А	*	2K	木	*	+			
		1	2	3	4	5	6	-		
E E Showroom A	7	8	9	10	11	12	13			
gang No1	14	15	16	17	19	19	20			
SS No2	21	22	23	24	25	26	27	-		
ERE No3	28	29	30	31						
E Showroom B										
🖭 🏦 Branch C	942	R ()			_		_	a.h.*	dia dia	
	3	54 MB				014		B-FR	WUTF	
						141	(4)		and the days	Rolling Street

 「プロジェクター一覧」から、データを送信するプロジェクターまたは プロジェクターのグループを選択します。

note

ここでは「グループ View」 画面で説明しています。「詳 細リスト View」画面は表示 が異なります。

4. [追加]をクリックします。

タイマー新規作成画面が表示されます。

タイマー新規作成	_	×
把注制 37(<u>16</u>)	日付	•
e₩D	2008/11/18	-
時间①	19:33	
魚 眷@	Power ON	•

- 5. [設定種別]の をクリックし、次のいずれかを選択します。
 - 日付:送信する日付を指定します。
 - 毎週:送信する曜日を選択します。複数の曜日を指定できます。
 - ■毎日:送信を開始または終了する日付を指定します。指定した期間、毎日データを送信します。

タイマー新規作成	_	×
設定租利	每日	•
開始日付	2009/03/26	•
終了日付	2009/03/27	•

6. 送信を開始する時刻を指定します。

7. [動作]の ▼をクリックし、「Message Broadcasting start」を選 択して [OK] をクリックします。 次の画面が表示されます。

Treate New Timer		×
Schulzk gode	Date	•
1e	2009/04/01	•
Type (24 hour)	17:08	
[perator.	Message Broadcasting start	•
You are about to	start Message Broadcasting s	ession.
• File		Select
S Folder		
		Select
Update interv	al 5 <u>–</u> minute	s
	OK	Cancel

- 送信するデータに合わせてチェックボックスをクリックします。
 [File]: 単一のデータを送信する場合
 [Folder]: 複数のデータを送信する場合
- 9. [Select] をクリックし、送信するファイルまたはフォルダを選択します。
- 10. フォルダを選択した場合は、スライドの切り替え時間を指定することができます。

[Update interval] で指定します。

11. [OK] をクリックします。

設定した送信スケジュールがタイマー設定画面に表示されます。

タイマー設定										X
プロジェクター一覧(12)	日付任	>								
🖻 🛗 Branch A		4		2005/08		•				
Convention Hal	B	月	火	水	*	金	±			
E B Shawroom		1	2	3	4	5	6			
E Showroom A	7	8	9	10	11	12	13			
star No1	14	15	16	17	18	19	20			
GTB No2	21	22	23	24	25	26	27			
CTB No3	28	29	30	31						
E Showroom B										
H Branch B		Er.						_		
E III Branch C	34 (-110								
		表示名				日付		時刻	動作	
	649	Lobby				2005/08/18	8	19:03	PC2 or Input B	
	121	Showroom	А			2005/08/11	8	19:06	Power ON	
	12.	Showroom	в			2005/08/11	8	20:05	Power ON	
	613	No3				2005/08/12	8	20:07	Power ON	
	<u></u>	Convention	n Hal			2005/08/1	9	20:04	Power ON	
										_
										_
		4.0.0	47.	11.003		1444	143		Table Arts Table Arts	
	-192	and D	A .	10		10,10	WB/	1.00	福集化) 門中水位	
									問われ	1
									10000	0

12. 投写終了時刻を設定します。

[追加]をクリックし終了時刻を指定した後に、[動作]ボックスで 「Message Broadcasting end」を選択して [OK] をクリックしま す。

終了時刻を指定しないと送信したメッセージを投写し続けます。

設定した送信スケジュールの有効 / 無効を切り替えたり、設定の編集 や設定を削除をすることもできます。

13. [閉じる]をクリックします。

設定内容が保存されます。

note

各プロジェクターからも投写 を中止できます。 本体操作パネルまたはリモコ ンの[戻る]ボタンを押しま す。 Message Broadcasting

から投写を再開する場合は、 プロジェクターの電源を入れ 直してください。

困ったときは

指定したプロジェクターでデータが投写されないときは、次の点を確認してください。

- お使いのコンピューターで、EasyMP Monitor がファイアウォールの 例外に指定されているか確認してください。
- 一部のプロジェクターでメッセージが投写されない場合は、プロジェ クター本体の「拡張設定」メニューの「待機モード」の設定が「通信 オン」に設定されていることを確認してください。
- 送信したデータの投写が開始されてからプロジェクターの本体操作パネルまたはリモコンの[戻る]ボタンを押して投写を終了した場合は、 プロジェクターを再起動しないと Message Broadcasting からの データを受信することができません。プロジェクターの電源を入れ直 してください。

© SEIKO EPSON CORPORATION 2013.